

平成 30 年度在宅医同行研修企画書

- 1 趣 旨

市民が安全で安心な在宅療養生活を送るためには、それを支える地域の在宅医の存在は欠かせない。2018 年 3 月 1 日現在、在宅療養支援診療所として 43 の診療所が登録しているが、団塊の世代が後期高齢者になる 2025 年を見据え、在宅医を増やすことは喫緊の課題である。

また、すでに在宅医療を行っている医師のスキルアップや在宅医同士の診診連携、病院勤務医に在宅医療の現場について認識を深めてもらうことも病診連携の視点から重要であると考えます。

そのため、在宅医療の実施の有無、あるいは開業医・勤務医の別にかかわらず、多くの医師や病院看護師にベテラン在宅医の現場を体験していただく機会を用意する。
- 2 主 催 横須賀市
一般社団法人横須賀市医師会
- 3 対 象 ①診療所医師
・在宅医療未参入の開業医
・スキルアップを目的とした在宅医療参入済み医師
②市内病院勤務医・看護師・その他コメディカル
その他研修を必要とする職種
- 4 受講可能回数 原則として年間 1 回／1 受講者
(平成 31 年 1 月 1 日時点で、実施予定数に満たない場合はこの限りではない)
- 5 実施方法 ①市から指導医を依頼する。
②希望者(受講者)は申込書を横須賀市地域医療推進課へ送付(随時受付)
③市は指導医を選定し、マッチングを行う。
④マッチング結果(決定連絡票)を申込者へ送付する。
⑤指導医と受講者は調整の上、同行研修を実施する。
⑥指導医・受講者とも、同行研修実施報告書(受講報告書)を市へ提出する。
⑦市は、指導医へ指導謝礼金を支払う。
- 6 周知方法 医師会員へ横須賀市医師会から通知する。
市内病院へ本市地域医療推進課から通知する。
- 7 指 導 医 横須賀市医師会から推薦いただいた医師